

平成29年 9月25日

長与町議会
議長 内村 博法

研修報告書

長与町議会議員研修要綱第7条の2の規定により、次のとおり公表します。

1. 研修名（主催者） 市町村議会議員研修「3日間コース」
「地方財政制度の基本と自治体財政」
2. 研修日時 平成29年8月16日（水）～18日（金）
3. 研修先 全国市町村国際文化研修所（国際文化アカデミー）
4. 研修目的 議員の資質向上及び議会の活性化に資するため
5. 研修参加者 中村 美穂議員
6. 所 見

地方財政制度の基本と自治体財政について、3日間をとおして講義指導していただいたのは関西学院大学大学院経済学研究科・人間福祉学部教授の小西砂千夫先生でした。1日目は地方財政制度の基本として現在の国の財政状況は好転している、景気が良いと実感がない時が良いということであること、地方交付税について総額決定と配分のしくみ、地方債の健全性、生活保護費について等の内容でした。実際に地方が行政サービスにどれくらいの予算が使えるのか、財政力指数は0.6～0.7が平均であることなど、わかりやすい説明であった。

2日目の午前中は、北海道総合政策部地域創生局地域づくり担当局長の今井太志先生とコーディネーターとして小西先生が入られ、自治体財政診断の考え方と手法について講義を受けた。この時間はまず自治体の

財政状況がいいか悪いかなぜ問題になるのか、財政状況が悪い状態とはどういうことなのかについての説明があった。悪い状態とは1. 赤字がある 2. 貯金が少ない 3. 借金が多い これらについてそれぞれ説明があり、その後は実際に自分の自治体を把握するためまず27年度の基金額比率を計算し、全員でその数値を表にしてみた。参加者の自治体がそれぞれどういう状況にあるのかを比較してみた。

それから19年度から27年度までを計算し、1人ずつグラフにし、発表した。本町はグラフの数値の差があまりなかった。基金額比率も将来負担比率も低い状態で差がないということは望ましい状況であるということらしい。

午後からは小西先生の地方財政の講義であった。よくある質問としていろいろな事例を用いての説明だった。

3日目の午前中は財政健全化における川西市の取り組みという内容で兵庫県川西市総合政策部長 松木 茂弘先生とコーディネーターとして小西先生の講義でした。川西市の財政健全化の取り組みについて歳出のコントロールをすること、財政運営のウイークポイントにメスを入れること、PFI事業の導入等実際の取り組みの説明があった。

午後からは小西先生のまとめとしての講義があり、財政力指数が低いと行政サービス等の枠が狭められるが、自治体の財政状況が良いことと、住民サービスが良い自治体は同じではない。今回の研修を通して本町の財政について深く考え、他の自治体との比較、今後の公共施設管理計画等財政運営の難しさと、これからももっと財政について勉強していかなくてはならないと思った。